

政策シート 政策名 08 緑化推進・緑地保全

予算費目名 01 緑化推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

②飢餓	④教育	⑤ジェンダー	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑭海洋資源	⑮陸上資源
⑬平和	⑰実施手段								

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	876,964	592,583	590,019	473,805	734,253	
決算	842,122	572,202	576,838	455,288		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	128,520	117,340	118,040	114,200	121,200	
年間経費(予算又は決算+A+B)	970,642	689,542	694,878	569,488	855,453	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
フラワーパークの入園者数	人	目標	490,000	500,000	470,000	470,000	470,000	470,000
		実績	460,286	351,176	352,359	408,881		
花づくりに関連するボランティア参加者数	人	目標	13,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績	11,003	7,318	7,092	7,333		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	遅れている
・フラワーパーク入園者数は、コロナ禍以前と比べ約9割程度まで回復したが、目標値へは届かず、40.9万人にとどまった。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、各種イベントを選択し、感染防止対策を実施したうえでイルミネーション等を開催するなど、魅力ある花と緑の空間の提供をした。	
・花づくりに関連するボランティアについては、新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、規模縮小など工夫をした上で可能な活動を実施し、花と緑のまち・浜松の普及啓発を推進した。	
・緑地保全を市民協働で進めるために、高林住吉市民の森保全・利活用協議会の主体的な活動を促す支援を行った。富塚川平地区市民の森では、ワークショップを開催し森の保全方針書を作成した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	緑化推進センター運営事業	-	-		47,041	42,481	0.6	0.1		
2	館山寺総合公園運営事業	○	○		582,141	551,341	4.4			
3	花と緑のまち・浜松推進事業	-	-		107,531	80,931	3.4			1.0
4	緑地保全事業	-	-		57,838	38,498	2.3	0.9		
5	緑の基本計画事業	-	-		8,920	4,020	0.7			
6	市街化区域内農地緑化保全事業	-	-		10,587	7,087	0.5			
7	浜松城公園長期整備構想推進事業	-	○		4,167	2,767	0.2			
8	都市計画公園見直し事業	-	-	○						
9	花と緑の基金積立金	-	-		1,900	500	0.2			
10	緑化推進運営経費	-	-		35,328	6,628	3.7			1.0
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					855,453	734,253	16.0	1.0		2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 緑化推進センター運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の“みどり”に関する意識の高揚、知識や技能を高める緑化活動拠点として、フラワーアレンジメント、生垣の作り方、剪定の仕方などの各種講座を開催し、緑の普及啓発活動を行う。また、県内唯一の都市緑化植物園として緑の相談所を開設し、質の高い市民サービスの提供を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1978	—	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	⑤ジェンダー
事業とゴールの関連性	・31の見本園を活用した専門的な相談から入門編の講習・相談など、誰でもみどりを愉しめる施設として提供する。また、園内利用者が、緑の必要性を感じられ、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つ場を提供する。	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	40,628	46,580	41,806	44,141	42,481	
	決算	40,007	46,421	41,773	43,690		
	国・県支出		112				
	市債						
	その他	657	668	649	350	22	
	一般財源	39,350	45,641	41,124	43,340	42,459	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,180	5,260	5,960	5,260	4,560	
人工	正規	0.7	0.7	0.8	0.7	0.6	
	再任用(31h)		0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					
年間経費(予算又は決算+A+B)		45,187	51,681	47,733	48,950	47,041	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
講座・講習会への参加人数(人) ※イベント、即売会を除く		目標	4,750	4,800	4,850	4,900	4,950	5,000
		実績	5,017	3,895	4,254	4,172		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 03 08 01 002155000 01 緑政課 廣野 浩之 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、可能なイベントを市民協働で開催することにより交流を深め、緑化推進拠点としての充実を図る。
- ・老朽化した施設・設備の改修等を計画的に行う。
- ・コロナ禍における癒しの空間としても、魅力ある園を来園者に提供し、31の見本園を活用した専門的な実技講習会や知識の啓発を図る講座の開催等により、“みどり”を愉しめる拠点づくりを行う。
- ・風致地区内住宅生垣用苗木及び緑地協定区域樹木等の交付を行う。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受ける中、コロナ対策を実施したうえで「みどりの夏まつり」や各種講座を開催し、来園者に緑の場の提供に寄与した。
- ・管理棟の大規模改修工事が着手され、講座を他の施設にて開催するなどの工夫をし、参加者人数を制限する中でも、市民への学びの機会の提供に努めた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、三密対策に取り組み、講座室の利用に人数制限を掛けたため、受講希望者全員を受け入れることが出来なかった。また、光熱費の高騰に伴い、電気料金が上昇した。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・管理棟の大規模改修が実施され施設が使用できない中で、各種講座が前年度より微減の受講者数であり、講座開催への工夫がみられる。
- ・新型コロナの感染状況を踏まえ、その時々に合わせて講座開催を実施させ、浜松の緑化推進拠点としての情報発信と利用者目線に立った緑の空間の提供に努めた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・大規模改修工事が完了する予定であり、新型コロナの状況も落ち着くことを見込み、従来通りの機能を発揮させていく。
- ・施設全体の再生計画を検討し老朽箇所の改修を行う。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・緑の基本計画の目標実現に向け、施設の利用促進を図る。
- ・老朽化した施設・設備の改修等を計画的に行う。
- ・今年度も新型コロナウイルスの状況を踏まえ、必要な対策を実施し、可能なイベントを市民協働で開催することにより交流を深め、緑化推進拠点としての充実を図る。
- ・コロナ禍における癒しの空間としても、魅力ある園を来園者に提供し、31の見本園を活用した専門的な実技講習会や知識の啓発を図る講座の開催等により、“みどり”を愉しめる拠点づくりを行う。
- ・風致地区内住宅生垣用苗木及び緑地協定区域樹木等の交付を行う。

事業シート (事業名) 02 館山寺総合公園運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

花と緑をテーマとした観光拠点として、来園者に対しおもてなしの空間を演出する。また、フラワーパークと動物園を一体的に管理するなど、効率化に向けた改善を行い、将来まで持続できる施設運営を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2013	—	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	⑤ジェンダー	⑧成長・雇用
事業とゴールの関連性		<ul style="list-style-type: none"> ・浜名湖観光圏の中核となる施設として観光業の集客に貢献している中で、雇用創出、花みどり文化振興・産品販促に繋がる政策を立てる。 ・花の聖地として、花みどり文化を国内外を問わず多くの人々に提供する。 	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	638,508	358,843	361,258	249,704	551,341	
	決算	612,366	349,319	357,138	239,369		
	国・県支出	202,800	150,628	61,806	17,174	26,760	
	市債	227,000			4,600	41,600	
	その他	34,369	30,712	11,099	11,437	278,174	
	一般財源	148,197	167,979	284,233	206,158	204,807	
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		21,700	18,200	17,500	17,500	30,800	
人工	正規	3.1	2.6	2.5	2.5	4.4	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		634,066	367,519	374,638	256,869	582,141	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
フラワーパークの入園者数(人)		目標	490,000	500,000	470,000	470,000	470,000	470,000
		実績	460,286	351,176	352,359	408,881		
観光交流客数(千人/年)	Ⅲ-2(2) イ	目標	23,700	20,400	20,800	21,200	21,600	22,000
		実績	19,441	9,941	11,890	2023.10頃確定		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	08	01	002155000	02	緑政課	廣野 浩之	2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・指定管理更新を機に、フラワーパークと動物園の更なる効率的な運営と利用者サービスの向上に努める。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施し、来園者に安心して利用できる施設として魅力ある花と緑の空間を提供する。
- ・浜名湖花フェスタなどのイベントを通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として来園者に「感動」と「安らぎ」、「癒し」を与えるとともに、魅力ある花と緑の空間を演出する。
- ・来園者が安心して快適に施設を利用できるよう、施設のUD化や老朽化した施設の改修を適宜実施する。
- ・次の50年に向けたNEXT50事業としてイベントを開催し、花の聖地として国内外にアピールする。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・コロナ禍の長期化は上半期の運営に暗い影を落とし、厳しい集客が続いたが、下半期は「館山寺総合公園デー」開催効果もあり、入園者数が計画を上回る月が続いた。だが上半期の落ち込みを挽回するには至らなかった。コロナ以前の入園者数と比べても、約9割程度まで回復したが、目標値へは届かず、40.9万人にとどまった。コロナの感染状況を踏まえ、各種イベントを選択し、対策を実施したうえでイルミネーション等を開催するなど、魅力ある花と緑の空間の提供をした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・2022年度は、新型コロナウイルスの第6波、第7波、第8波と年間を通じて影響を受け続けた。また、エネルギー価格高騰に伴い、光熱水費や種苗費等のコストが上昇した。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナの感染状況を踏まえ、各種イベントを選択しながら感染症対策を実施したうえで開催し、魅力ある花と緑の空間の提供をした。
- ・来園者が安全で快適に過ごせるようUD対応として動物園共通門へつながる園路の設計を行った。
- ・館山寺総合公園として、動物園と初の共同イベント「館山寺総合公園Day」を2月5日に開催し、大好評であった。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・コロナ禍で減少した入園者数の回復に向け、可能なイベントを開催し、魅力ある園の提供について情報発信する。
- ・ホームページやSNSを活用した情報発信に注力し、園の魅力を国内外にアピールして集客力の強化に努める。
- ・老朽化した施設・設備の改修等を計画的に行い、長寿命化対策を進めていく。
- ・動物園との一体感を出せるよう、協力体制を充実させていく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・浜名湖花博20周年記念事業開催に向け、会場整備と魅力度アップによりコロナ禍で減少した集客の増を図る。
- ・花博に相応しい花修景、デジタルイベント、交通計画を実施計画に基づき具体的な整備と関係機関調整を実施する。
- ・来園者が安心して快適に施設を利用できるよう、施設のUD化や老朽化した施設の改修を実施し、長寿命化対策も進める。
- ・浜名湖花フェスタなどのイベントを通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として来園者に「感動」と「安らぎ」、「癒し」を与えるとともに、魅力ある花と緑の空間を演出する。
- ・ホームページやSNSを活用した情報発信に注力し、最新情報の発信に努め、園の魅力を国内外にアピールする。
- ・動物園、緑政課、財団の三者が協力し、館山寺総合公園としての一体感を利用者が感じられるよう、両施設の特徴を活かした運営と集客力の強化を図る。

事業シート (事業名) 03 花と緑のまち・浜松推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「花と緑の祭」などのイベントの開催やボランティア団体への支援を通じて花と緑に親しむ市民を増やし、「花と緑のまち・浜松」を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1956		一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		・公共空間への花飾りや花ボランティアの育成を通じ、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つことができる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	77,733	73,761	73,234	80,195	80,931	
	決算	75,090	67,115	68,845	76,529		
	国・県支出						
	市債						
	その他	1	65,646	5,258	5,742	5,437	
	一般財源	75,089	1,469	63,587	70,787	75,494	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	28,700	24,160	24,160	24,160	26,600	
人工	正規	3.7	3.0	3.0	3.0	3.4	
	再任用(31h)		0.1	0.1	0.1		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
年間経費(予算又は決算+A+B)		103,790	91,275	93,005	100,689	107,531	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
花づくりに関連するボランティア参加者数(人)		目標	13,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績	11,003	7,318	7,092	7,333		
企業展示花壇設置数(対象箇所に対する企業展示割合%)		目標	50	50	50	50	50	50
		実績	49	54	38	38		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 03 08 01 002155000 03 緑政課 廣野 浩之 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、可能なイベントを市民協働で開催することにより、花と緑のまち・浜松の推進を図る。
- ・「浜松市花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
- ・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントを開催する。
- ・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
- ・市役所本庁舎やJR浜松駅周辺などの地域拠点に花壇やフラワーポットを設置し、維持管理を行う。
- ・JR浜松駅前のモザイクカルチャー展示物を適正に維持管理する。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルス対策を実施し、規模縮小など工夫をこらしたうえで「花と緑の祭」や「鍛冶町通り植替え作業」、「花と緑のコンクール表彰式」などを市民協働で開催させることが出来た。
- ・各ボランティア団体の活動は、コロナの影響、高齢化に伴う活動の縮小、団体の解散などの要因により会員数は減少傾向にある。また、コロナ対策の実施や、参加人数を減らしても機会を増やすといった工夫を実施し前年度より参加者数を増やすことはできたが、目標値には届かなかった。
- ・企業展示花壇については、1社減、1社増のプラスマイナスゼロとなり、前年度と同数の管理40花壇のうち15花壇となっている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルスの影響や高齢化により、ボランティア団体の会員数は様々な要因により減少傾向にある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、感染症対策を実施したうえで可能な活動は開催し、花と緑のまち・浜松の普及啓発を推進させた。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動が推進できた。
- ・企業への声掛けやPR動画を作成したが、コロナの影響もあり企業展示花壇数の回復にはなっていない。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・沿道、公共施設への園芸資材交付の申請数、申請額ともに増加しているが、申請に対し8割程度の交付を実施している。花と緑のまちを推進するためには協働の取り組みが重要であり、市民活動団体から求められる資材を適切に交付できるよう、交付対象などの検討を今後も継続して行う。
- ・コロナ対策を実施した上での開催可能なイベントについて整理し、一人でも多くの市民参加が図られるよう工夫する。
- ・企業展示花壇への参加企業を増やすためのPRを継続していく。



7 当年度(2023年度)事業実施内容 (Plan)

- ・新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、可能なイベントを市民協働で開催することにより、花と緑のまち・浜松の推進を図る。
- ・「浜松市花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
- ・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントについて、市民が参加しやすい方法を検討し、継続して開催する。
- ・「全国花のまちづくり浜松大会」を開催し、全国に花と緑のまち浜松を広くPRする。
- ・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
- ・JR浜松駅前のモザイクカルチャーや花壇などの展示物を適正に維持管理する。
- ・企業展示花壇への参加企業増を目指し、今後もPRを実施していく。問合せ企業もあり、チャンスを逃すことなく参加していただけるよう粘り強く交渉を継続させていく。

事業シート (事業名) 04 緑地保全事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・特別緑地保全地区や市民の森、保存樹・保存樹林を指定するとともに、協働による緑の維持管理体制を構築し適正に維持管理することで、都市部における貴重な緑を次代に引き継ぐ。
 ・民間事業所に対し緑化を指導し、緑豊かなまちづくりを推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977		一般会計	自治事務	都市計画法、静岡県立自然公園条例、緑の保全及び育成条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市		⑥水・衛生			
		⑮陸上資源			
事業とゴールの関連性	・緑地の保全や自然公園等の保護を通じ、生態系の保護・回復を行い、森林をはじめとする陸域生態系を持続可能にするとともに、生物多様性の損失を阻止する。 ・緑地を適切に保全することで、自然災害にしなやかに対応する力の強化に寄与する。				

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	33,815	32,392	34,131	40,998	38,498	
	決算	31,158	30,852	32,048	38,740		
	国・県支出						
	市債						
	その他	107	120		807	11,000	
	一般財源	31,051	30,732	32,048	37,933	27,498	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	26,740	26,320	22,120	22,480	19,340	
人工	正規	3.5	3.4	2.8	2.8	2.3	
	再任用(31h)		0.7	0.7	0.8	0.9	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.8					
年間経費(予算又は決算+A+B)		57,898	57,172	54,168	61,220	57,838	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
保全が担保される緑地の面積(ha)		目標	165	180	195			
		実績	84	84	84			
市民協働による緑地保全活動に参加した市民(人)		目標				2,100	2,120	2,140
		実績				2,094		
事業所緑化指導数(件)		目標	80	80	80			
		実績	69	65	63			
事業所緑化指導基準達成事業所の割合(%)		目標				81.0	81.5	82.0
		実績				62.7		
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野
03

基本政策
03

政策
08

予算費目
01

所属コード
002155000

事業
04

(担当課)
緑政課

(責任者)
廣野 浩之

(基準日)
2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・保存樹・保存樹林を指定し、その所有者(管理者)の維持管理に対して報償金を交付する。
- ・保存樹・保存樹林のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
- ・市民の森候補地(11地区)について、地権者の理解を得ながら指定する。
- ・市民の森指定地の所有者(管理者)の維持管理に対して報償金を交付する。
- ・市民協働による維持管理活動を安全・安心に実施するため、活動の対象となる市民の森において境界の現況測量を行う。
- ・市民の森では、保全年針書に基づいた市民活動の積極的な展開を促すとともに、高林住吉市民の森においては、平成30年度に設立した「高林住吉市民の森 保全・利活用協議会」の活動を活性化し、組織の主体的な運営への移行をサポートする
- ・市内の「市民の森」を有効利用した自由な企画事業を募り、市民協働の手法により積極的な市民活動を担う市民団体の掘り起こしや人材育成を図る。
- ・特別緑地保全地区(富塚椎ノ木谷地区)では、市民協働による自然環境の適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活発化させる施設整備を行う。
- ・風致地区や自然公園(国定・県立)などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。
- ・工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2015年9月に緑地保全の優先順位付けと保全の方法を定めた、「地域制緑地指定及び見直し計画」を策定して、市民協働を取り入れた市民の森の保全や風致地区の指定及び見直しの道筋を示した。

〈緑地指定状況:2022年度末〉

- ・景観重要樹木 1本、保存樹 55本、保存樹林 77箇所42.6ha、市民の森 34.6ha、特別緑地保全地区 6.7ha
- ・市民の森及び保存樹林などの指定はほぼ横ばいが続き、指標となる面積は変更なし。
- ・市民協働による保全は、計画初期段階において地域住民等の機運の醸成に時間を要する。
- ・事業所等緑化協議 59件 緑化基準を満たすよう指導する。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・保全活動団体の構成員の高齢化により、活動の継続が困難になる団体が増加することが推測される。このため、活動団体の継続的な活動が可能となる環境づくりが課題である。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民の森や保存樹・保存樹林の所有者の維持管理に対し報償金を交付した。
- ・市民協働による保全のため設立した、高林住吉市民の森保全・利活用協議会の運営を支援し主体的な活動を促した。
- ・事業の指標について、市民協働による緑地保全活動に参加する市民が増加するなどの効果が現れてきたことから、住民参加数を指標とすることで目標の達成度合いを測定するための指標へと見直しを行った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・高林住吉地区では、2018年度に設立した協議会の保全活動の運営をサポートする。
- ・高林住吉地区のみならず、他地区の市民の森においても市民協働による保全活動を推進する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・保存樹・保存樹林所有者への報償金支払い及び名松補助制度により指定の維持・促進を図る。
- ・市民の森所有者への報償金支払い及び市民協働活動を活発化し、都市部の樹林地の保全を推進する。
- ・緑地保全の候補地について、地域制緑地への指定も含め、候補地の特性に合った保全の方向性を検討する。
- ・風致地区や自然公園(国定・県立)などにおいて、建築制限や緑化についての指導及び許可等を適正に行う。
- ・工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。

事業シート (事業名) 05 緑の基本計画事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・2020年度末に策定した浜松市緑の基本計画の推進のために必要な市民・事業者による取り組みを促進する。
 ・浜松市緑の基本計画の目指す姿及び基本目標を実現するため、推進体制を構築し、市民協働によりみどりに関する施策・事業の実施に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務	都市緑地法

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	④教育	⑧成長・雇用
⑭海洋資源 ⑮陸上資源	⑰実施手段	
事業とゴールの関連性	浜松市緑の基本計画は、みどりによってまちづくりの課題解決を目指し、持続的に発展する都市の実現に貢献する計画であり、計画したプロジェクトや推進プログラムを実施することにより、まちづくりや環境、教育、産業、雇用等に繋げる。	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				2,541	4,020	
	決算				2,541		
	国・県支出						
	市債						
	その他				196		
	一般財源				2,345	4,020	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			6,300	4,900	4,900	
人工	正規			0.9	0.7	0.7	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				6,300	7,441	8,920	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
「緑の基本計画」推進体制の構築に向けた事業の実施		目標			ゆしみ方PR HP開設	総合窓口設置 人材育成事業開始	かっこ制度運用開始 人材育成事業継続	指定管理者制度活用 人材育成事業継続
		実績			ゆしみ方PR HP開設準備	総合窓口設置 HP開設 人材育成事業開始		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野

03

基本政策

03

政策

08

予算費目

01

所属コード

002155000

事業

05

(担当課)

緑政課

(責任者)

廣野 浩之

(基準日)

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

○浜松市緑の基本計画に掲げる推進体制の構築に向けた事業を行う。
・2022年度は、みどり生活の楽しみ方を市民や事業者へ広くPRするため、市ホームページ上に専用ページを開設し、基本計画に基づき取り組む制度や緑に関する情報発信を行うとともに、ソーシャルメディアを活用した情報発信にも取り組む。
・推進体制を担う人材の育成・発掘を行う。
○「緑の基本計画」推進プログラムを策定・公表し、進行管理を行う。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・市ホームページ上に専用ページを2022年4月に開設し、フェイスブック等のソーシャルメディアの活用と併せ、基本計画に基づき取り組む制度や緑に関する情報発信を行った。
・業務委託にて人材育成事業を実施し、講座や相談会等の事業に延べ80名程度が参加した。今後、市民や民間事業者がみどりを活かしてまちづくりの課題解決をするための活動を始めるために必要な伴走や各種支援のための制度を拡充する必要がある。
・「緑の基本計画」推進プログラムを策定・公表し、進行管理を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・民間活力を最大限活かして、緑・オープンスペースの整備・保全を効果的に推進し、緑豊かで魅力的なまちづくりを実現するため、都市緑地法等の法律が改正された。(平成29年5月)
・多様で複雑な社会状況の変化を踏まえ、国土交通省より都市公園新時代に向けた重点戦略が示され、「使われ活きる公園」を目指す重要性が高まっている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・みどり生活の楽しみ方のPRを充実させるため、情報発信の強化を図る。
・人材育成事業の内容の拡充と、受講生への伴走等の支援の強化を図る。
・「緑の基本計画」推進プログラムの進行管理を行い、必要に応じて見直しを検討する。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・情報発信におけるPR強化の取り組みとして、人材育成事業に係る記事の作成、動画作成等により情報を充実させると共に、必要な機器の調達を検討する。
・推進体制を構築するために必要な民間人材の育成及び掘り起こしのため、人材育成事業を実施する。
・市民の活動の場を提供するための制度を検討する。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

・みどり生活を応援する総合窓口の強化やみどり生活の楽しみ方のPRのための情報発信の充実を図る。
・人材育成事業において経営者育成講座を追加し、みどりを活かしてまちづくりの課題解決をするための活動が経済的な自立ができるためのノウハウを学べる場をつくる。
・推進プログラムの進行管理を行う。

事業シート (事業名) 06 市街化区域内農地緑化保全事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

都市部の貴重な緑のオープンスペースとして機能している市街化区域内の農地を保全するため、生産緑地地区の指定や特定市民農園(いきいき菜園)の維持・運営を行う。なお、本事業は、市街化区域内農地の宅地並み課税に対する支援策として始めた。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	—	一般会計	自治事務	生産緑地法、市民農園整備法、市民農園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	②飢餓								
①都市	②生産・消費								
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> 生産緑地地区や特定市民農園を事業継続し、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供することで、人間居住を実現する。 特定市民農園を市民が利用することで、持続可能な生産消費形態の確保に寄与する。 								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	9,082	9,256	9,478	6,992	7,087	
	決算	8,749	8,933	9,159	6,607		
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,640	1,780	1,842	1,631	1,697	
	一般財源	7,109	7,153	7,317	4,976	5,390	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	6,300	7,000	5,600	5,600	3,500	
人工	正規	0.9	1.0	0.8	0.8	0.5	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		15,049	15,933	14,759	12,207	10,587	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市街化区域内の農地に対する生産緑地地区と市民農園の割合(%)		目標	13	16	19	23	6.7	7.0
		実績	5.9	6.2	6.5	6.4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野

03

基本政策

03

政策

08

予算費目

01

所属コード

002155000

事業

06

(担当課)

緑政課

(責任者)

廣野 浩之

(基準日)

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・市街化区域内の農地を生産緑地地区として指定し、現地の保全の状況を確認する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として維持・運営し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭でできる野菜栽培講座を開催する。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

<特定市民農園の設置>市街化区域内の中学校区に概ね1箇所 計25箇所を目標として開設する。

- ・2008 4箇所(楊子 篠原 三ヶ日 文丘) 70区画 4,672㎡
 - ・2009 4箇所(入野 小豆餅 染地台 鴨江)52区画 4,081㎡
 - ・2010 3箇所(北島、楊子第二、横須賀)40区画 3,244㎡
 - ・2011 北島の区画増設 15区画 総計177区画 11,997㎡
 - ・2014 北島の区画増設 1区画 総計178区画 12,286㎡
 - ・2021 小豆餅廃止(13区画 837㎡)総計165区画11,449㎡ 現在は、計10箇所
- <菜園栽培講座>12回開催
<生産緑地の指定状況> 133箇所 16.07ha

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・市街化区域内農地の減少傾向が続いている。
- ・未経験の規模の自然災害が増加している。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・特定市民農園(いきいき菜園)を利用者に提供するとともに、食や緑に関する講座を充実し、市民農園の魅力を高めた。
- ・2020年度に生産緑地地区の指定要件を500㎡から300㎡以下とする条例制定を行ったことについて、農地所有者等への広報を行った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・開設10箇所の農園は、農地所有者と市が20年間の使用貸借契約を結んでいる。また、空き区画が存在する農園もあるため、空き区画を減らすための検討を行っていく。
- ・生産緑地法等の改正に伴い指定面積要件を緩和する条例を制定したため、農地所有者に指定申し出を促すことにより、市街化区域内農地の保全を推進する。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・生産緑地地区の指定要件が緩和されたことについて、農地所有者への周知方法を拡充し指定を推進する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として維持・運営し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭でできる野菜栽培講座を開催する。
- ・いきいき菜園の利用状況等の情報を発信し、利用率の維持向上を図る。

事業シート (事業名) 07 浜松城公園長期整備構想推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

2014年2月に策定・公表している浜松城公園長期整備構想に基づき、埋蔵文化財包蔵地である旧元城小学校跡地と駐車場エリアについて遺構調査を行い、その調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019	2023	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑧成長・雇用
事業とゴールの関連性	遺構調査を行い、発見された遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりに繋げることで新たな観光資源として持続可能な観光業の促進につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	62,241	57,733	63,150	38,127	2,767	
	決算	60,642	56,205	62,297	37,836		
	国・県支出		27,335				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	60,642	28,870	62,297	37,836	2,767	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100	2,100	1,400	
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		62,742	58,305	64,397	39,936	4,167	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松城跡(元城小跡地)の発掘調査の進捗率(%)		目標	25	50	75	100		
		実績	25	50	75	100		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 03 08 01 002155000 07 緑政課 廣野 浩之 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・2022年度は、過去3年の遺構掘削調査の整理作業及び報告書刊行作業を行った。また、この発掘調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討する。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・発掘調査により、浜松城に関わる痕跡が残存している部分があることを確認し、この発掘調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討するため、庁内各課と協議を行った。
・大河ドラマ館終了後、公園整備までの間の旧元城小学校跡地の利活用方法の検討を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

浜松城跡を国指定史跡とすることを目指している。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・発掘調査により、浜松城に関わる痕跡が残存している部分があることを確認し、この発掘調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討するため、庁内各課と協議を行った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・遺構調査を踏まえた公園づくりのため、現在策定中の「市史跡浜松城跡保存活用計画」や、国史跡指定を目指す動きなどを踏まえるほか、市民文化創造拠点施設整備や大河ドラマ館終了後の方向性など分野横断的な判断が必要であることから、庁内連携を密にし、調整を十分に行いながら検討を進める。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

○過去3年の遺構掘削調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを庁内連携を密にし、調整を十分に行いながら検討する。

事業シート (事業名) 08 都市計画公園見直し事業 【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

人口減少の将来を見据えて、長期未着手の都市計画公園区域を見直し、都市計画法上の規制を取り除く。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2011	—	一般会計	自治事務	都市計画法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									⑨イノベーション
事業とゴールの 関連性	都市計画決定をしている都市計画公園の見直しを行い、整備プログラムに従い計画的に整備し、公共スペースの提供につなげる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	6,823	3,504	108	2,970	0	0
	決算	6,644	3,490	25	2,970		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	6,644	3,490	25	2,970	0	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	3,500	3,500	2,100	0	0
人工	正規	1.0	0.5	0.5	0.3		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		13,644	6,990	3,525	5,070	0	0

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
都市計画公園等の変更(減少)面積(ha)		目標	110	1	1	6	0	0
		実績	111	0	4.4	0		
		目標	0					0
		実績	0					
		目標	0					0
		実績	0					
		目標	0					0
		実績	0					
		目標	0					0
		実績	0					

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・「浜松市都市計画公園の見直し計画」により見直し対応とした30箇所の公園緑地のうち、手続きが終わっていない4箇所の公園について、条件が整い次第、都市計画変更手続きを進める。
- ・旧浜松市以外の都市計画公園区域図の電子化業務を行う。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2022年度は、手続きを保留している4箇所の公園について、条件が整わないため手続き保留を継続した。
- ・旧浜松市以外の都市計画公園区域図の電子化業務を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・人口減少の将来を見据えた見直し
- ・地元の住民の都市計画変更に対する反対



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2022年度は、手続きを保留している4箇所の公園について、条件が整わないため手続きを保留すると共に、今後について、当面変更の見込みがないことから、今後の方向性の検討を行った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・「浜松市都市計画公園の見直し計画」により見直し対応とした30箇所の公園緑地のうち、条件が当面整わないと判断される4箇所の公園について見直し保留とし、条件が整い次第、2023年度以降に随時都市計画変更手続きを進める。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

事業シート (事業名) 09 花と緑の基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てるとともに、その原資を活用して緑地の保全と緑化の推進を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1987	—	一般会計	自治事務	花と緑の基金条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑥水・衛生	⑮陸上資源
事業とゴールの 関連性	基金運用益を活用し、樹木交付事業などによる緑地の保全及び緑化の推進を行うことで生態系の保護・回復を行い、水と衛生の持続可能な管理を確保する。	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	500	500	500	500	500	
	決算	234	414	370	229		
	国・県支出						
	市債						
	その他	234	414	370	229	500	
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,634	1,814	1,770	1,629	1,900	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
花と緑の基金に寄せられた寄附金(千円)		目標	500	500	500	500	500	1000
		実績	234	414	370	229		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・「花と緑の基金」の趣旨に賛同した市民から寄せられた寄附金を積み立てる。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2022年度は、募金箱による寄附のほか、団体による寄附があったが、前年度を下回る金額を積み立てとなり、目標には及ばなかった。
- ・募金箱のリニューアルを行い、分かりやすい表示に努めた。
- ・大口の寄附に頼ることなく、多くの寄附金を集める手法を検討する必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・基金を適正に管理した。
- ・2022年度末残高 = 145,791,830円
(154,081,412円《2021年度末残高》 + 229,418円《2022年度寄附合計》 - 8,519,000円《2022年度取崩し》)

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・継続して基金を適正に管理する。
- ・基金の周知のためのPRを推進する。
- ・2023年度は、館山寺総合公園運営事業(花博20周年記念事業関係)のほか、モザイカルチャー推進事業に充当するため基金の取り崩しを行う。(134,477千円)

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・市民から花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てる。
- ・基金のPRのための情報発信をホームページやSNS等にて行う。

事業シート (事業名) 10 緑化推進運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・緑政課の一般事務に要する経費。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1986	-	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	7,634	10,014	6,354	7,637	6,628	
	決算	7,232	9,453	5,183	6,777		
	国・県支出						
	市債						
	その他	5	28	1	2	2	
	一般財源 一般会計繰入金	7,227	9,425	5,182	6,775	6,626	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		29,400	29,400	29,400	28,700	28,700	
人工	正規	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
年間経費(予算又は決算+A+B)		36,632	38,853	34,583	35,477	35,328	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野
03

基本政策
03

政策
08

予算費目
01

所属コード
002155000

事業
10

(担当課)
緑政課

(責任者)
廣野 浩之

(基準日)
2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

緑政課の一般事務を行う。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

緑政課の一般事務を適切に行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

小項目

/

事業費

人工

緑政課の一般事務を適切に行った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

小項目

/

事業費

人工

緑政課の一般事務を適切に行う。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

緑政課の一般事務を適切に行う。